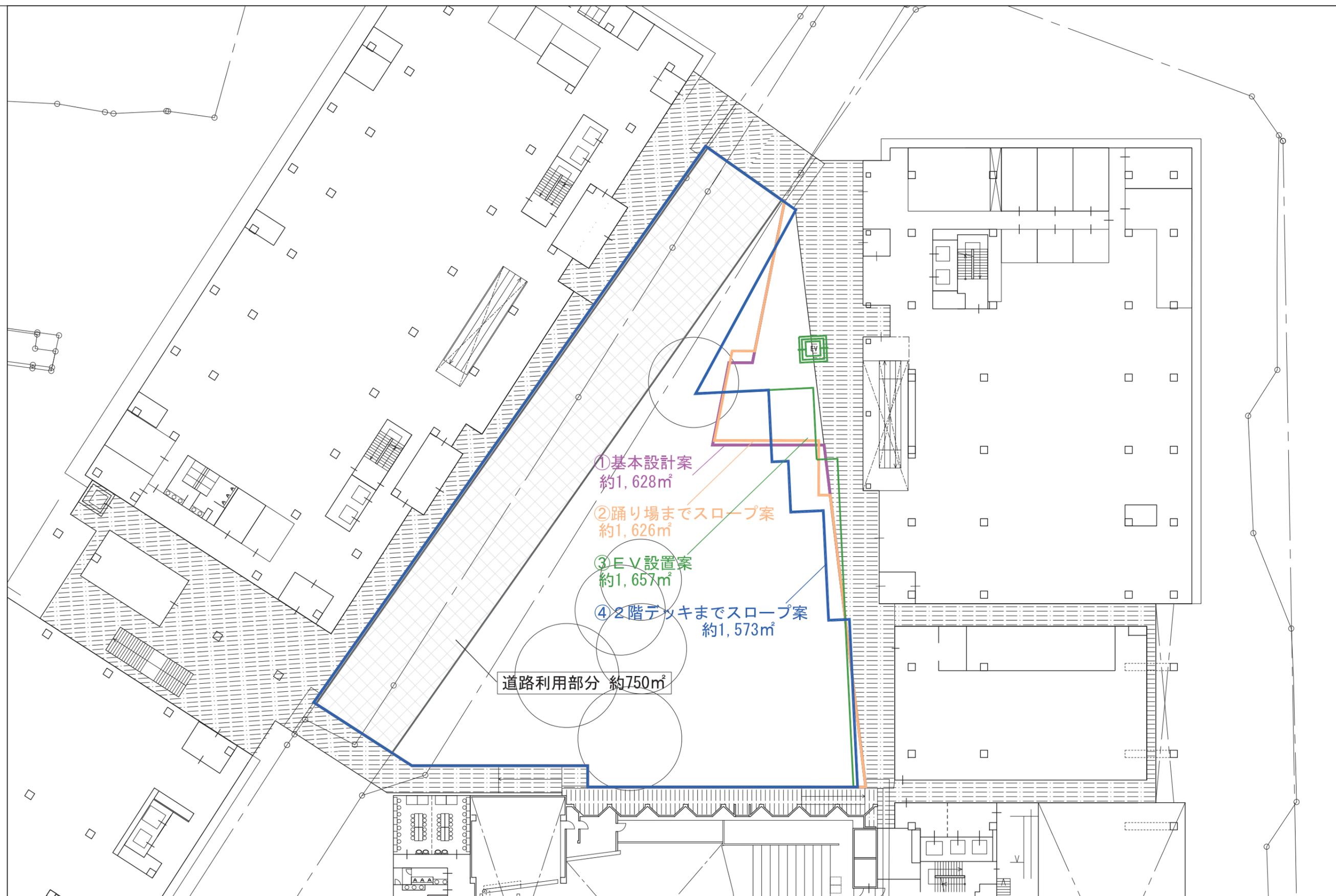


	①基本設計案	②踊り場までスロープ案 (階高4800)	③EV設置案 (階高4800)	④2階デッキまでスロープ案 (階高4800)
広場面積 (広場の解放感)	(階段を除く) ○ 約2,378㎡* (階段 及び道路区域約750㎡除く 約1,628㎡*)	(階段を除く) ○ 約2,376㎡* (階段及びスロープ 及び道路区域約750㎡除く 約1,626㎡*)	(階段を除く) ○ 約2,407㎡* (階段 及び道路区域約750㎡除く 約1,657㎡*)	(階段及びスロープを除く) ○ 約2,323㎡* (階段及びスロープ 及び道路区域約750㎡除く 約1,573㎡*)
区民交流 スペースと 広場の連続性	○ (入口付近の視界・動線確保共に良好)	○ (入口付近の視界・動線確保共に良好)	○ (入口付近の視界・動線確保共に良好)	△ (入口付近の視界・動線確保共に良好)
2階リングテラス へのアプローチ としてのUDの視点	△	△	○	◎ (健常者と障害者が同じ動線を歩くことができる) (スロープがあることにより避難への安心感がある)
活動の多様性	○ (大階段を利用した多様なイベント利用が可能、仮設ステージの設置不要)	○ (大階段を利用した多様なイベント利用が可能、仮設ステージの設置不要)	○ (大階段を利用した多様なイベント利用が可能、仮設ステージの設置不要)	◎ (大階段やスロープ踊り場を利用した多様なイベント利用が可能 大階段イベント利用時でもスロープで2階へアクセスが可能 仮設ステージの設置不要)
管理コスト	○	○	△ (エレベーターの定期点検+ランニングコスト)	△ (スロープ部分のガラス手摺の清掃)
コスト	◎ ①	◎ ①+0.1億円 (広場レベル+600の踊り場までのスロープ分) (①+0.116億円) () は維持管理・清掃費(60年)0.016億円を含む	△ ①+0.33億円 (EV分) (①+1.17億円) () は維持管理・清掃費(60年)0.84億円を含む	△ ①+0.66億円 (スロープ分 (単独設置の場合)*1) (①+0.78億円) () 維持管理・清掃費(60年)0.12億円を含む
安全性への配慮 の必要性	転落防止の為、手摺壁(ガラス)の高さの確保が必要 夜間侵入防止のためのチェーン設置が必要 階段下の衝突防止策が必要	転落防止の為、手摺壁(ガラス)の高さの確保が必要 夜間侵入防止のためのチェーン設置が必要 階段下の衝突防止策が必要	転落防止の為、手摺壁(ガラス)の高さの確保が必要 夜間侵入防止のためのチェーン設置が必要 夜間のエレベーターの停止 階段下の衝突防止策が必要	転落防止の為、手摺壁(ガラス)の高さの確保が必要 夜間侵入防止のためのチェーン設置が必要 スロープ、階段下の衝突防止策が必要

*詳細な面積は今後設計を進めるにあたり変更になる可能性があります。
*1(階段との一体整備による施工経費等の縮減分は考慮していません)

広場・リングテラスの階段・スロープ 広場面積比較（階段及びスロープ及び道路区域 約750㎡除く面積）

2階
平面図



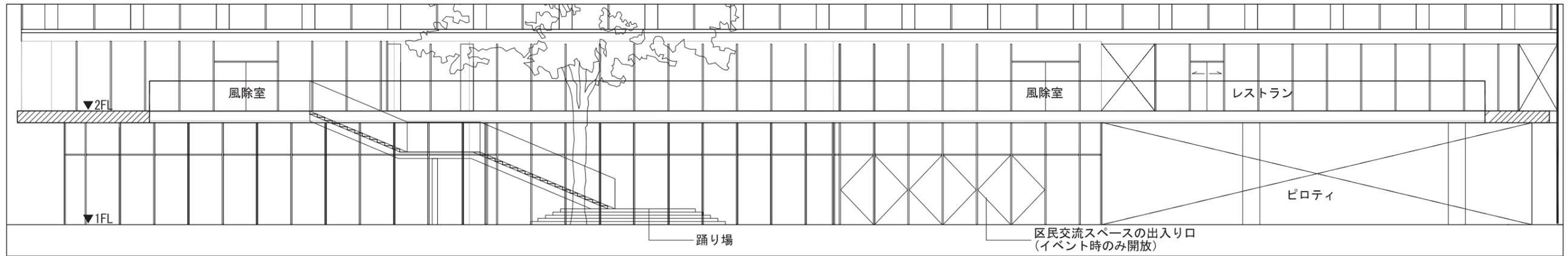
2F
S=1/400



広場・リングテラスの階段・スロープ 立面比較

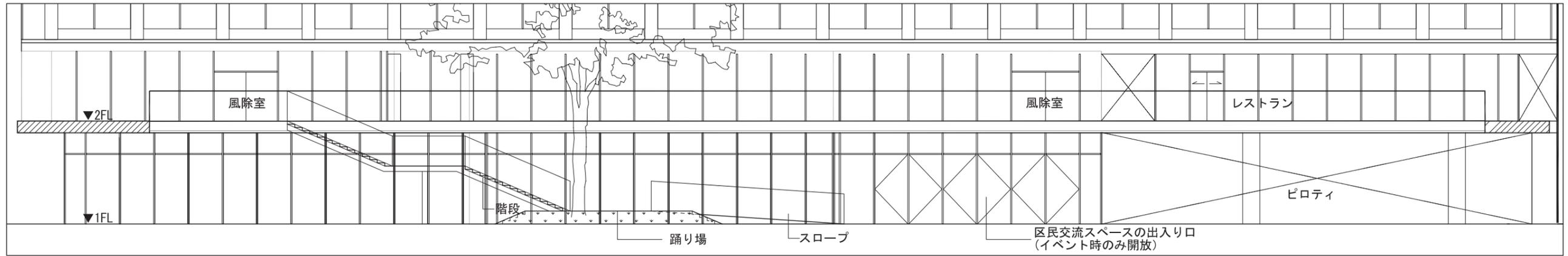
①基本設計案

S=1/200



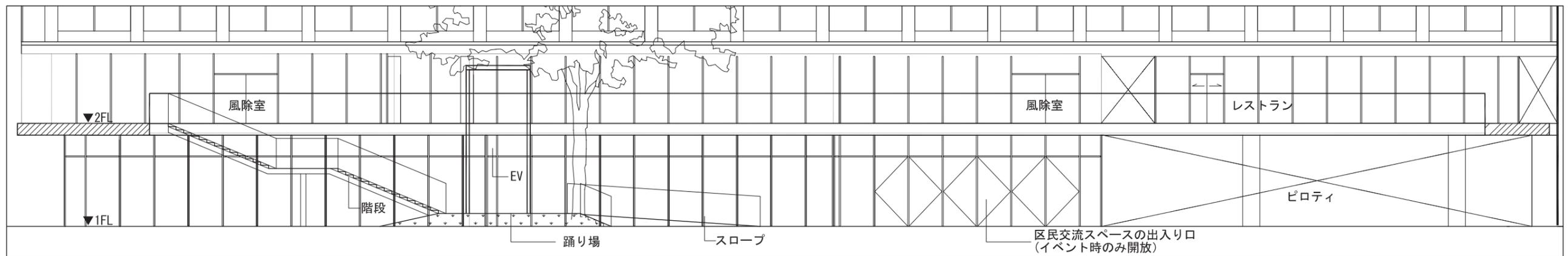
②踊り場までスロープ案

S=1/200



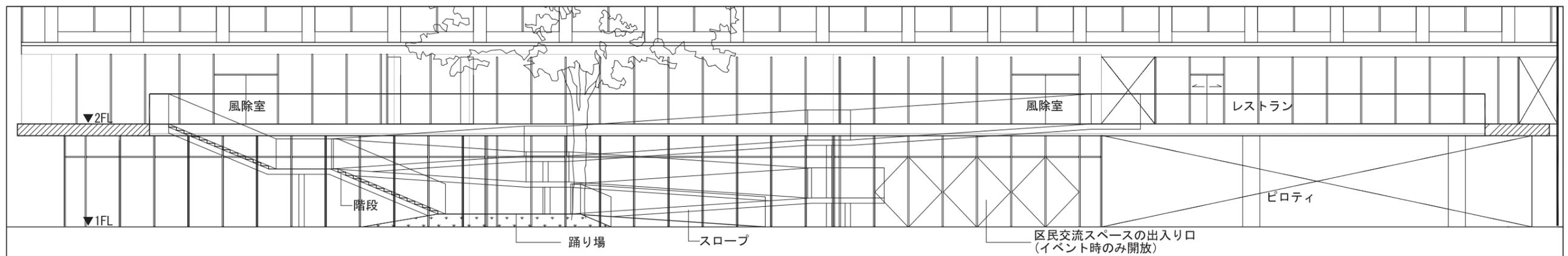
③EV設置案

S=1/200

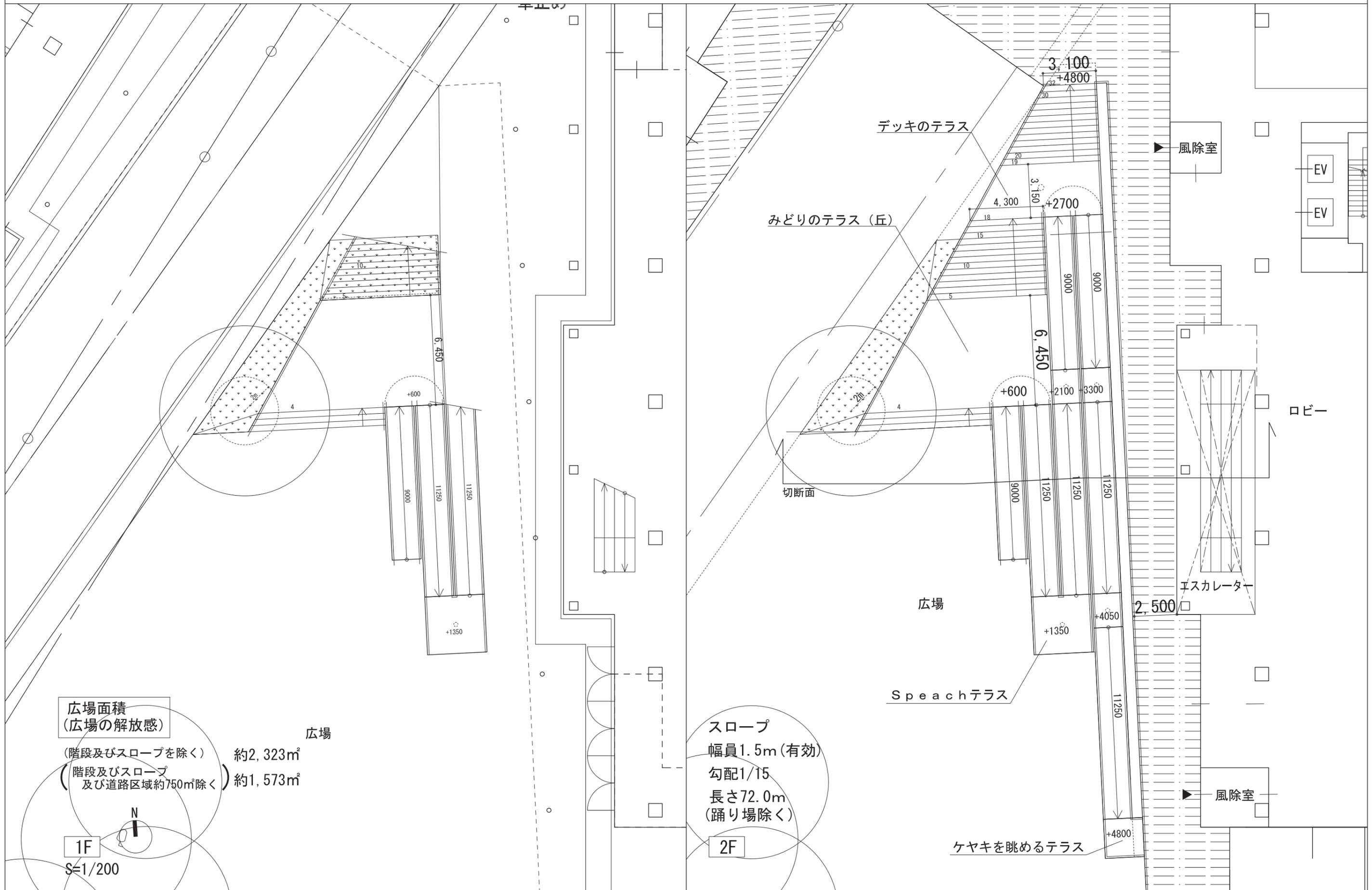


④2階デッキまでスロープ案

S=1/200

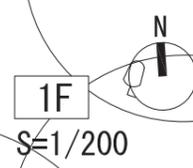


平面図



広場面積
(広場の解放感)

(階段及びスロープを除く) 約2,323㎡
(階段及びスロープ及び道路区域約750㎡除く) 約1,573㎡



スロープ
幅員1.5m(有効)
勾配1/15
長さ72.0m
(踊り場除く)

1F

2F

Speechテラス

デッキのテラス

みどりのテラス (丘)

広場

ケヤキを眺めるテラス

風除室

ロビー

エスカレーター

風除室

EV

EV

3,100
+4800

4,300
+2700

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

11,250

11,250

3,100

4,300

+600

+1350

+4800

+600

+1350

2,500

+4800

切断面

6,450

6,450

11,250

11,250

11,250

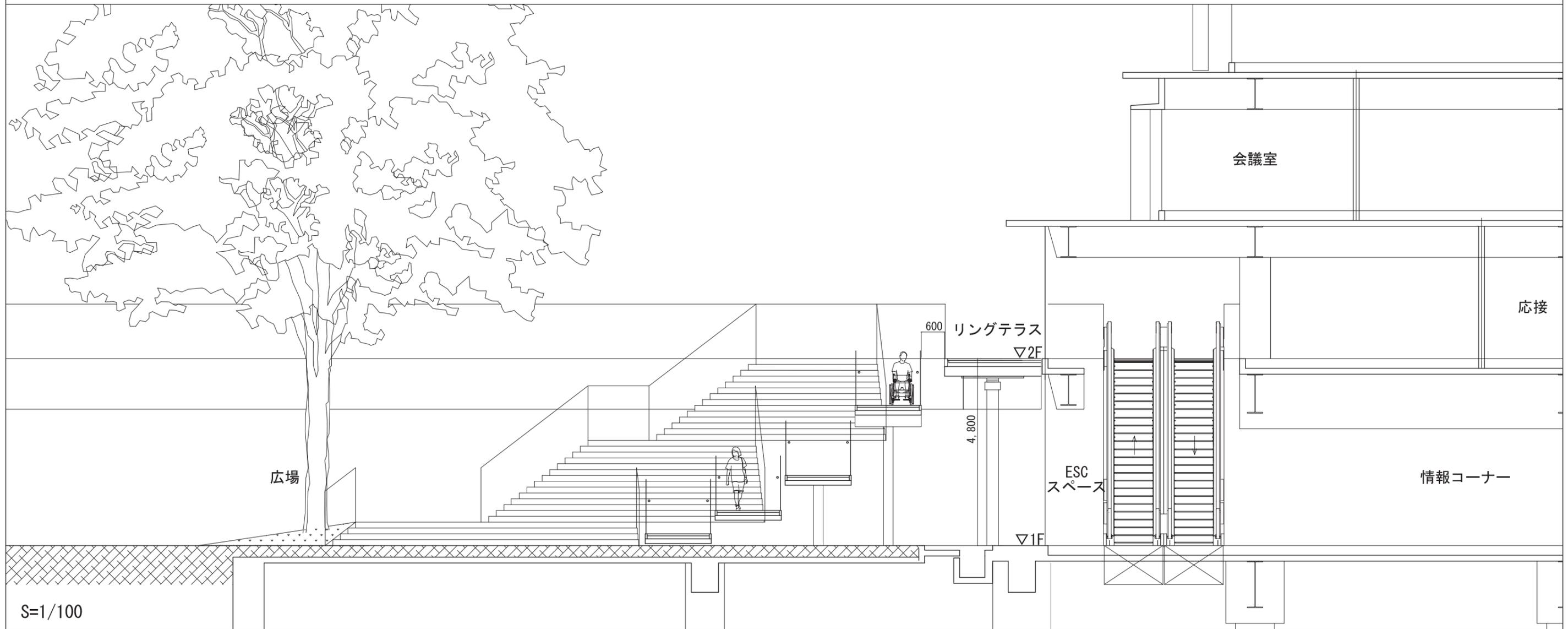
11,250

11,250

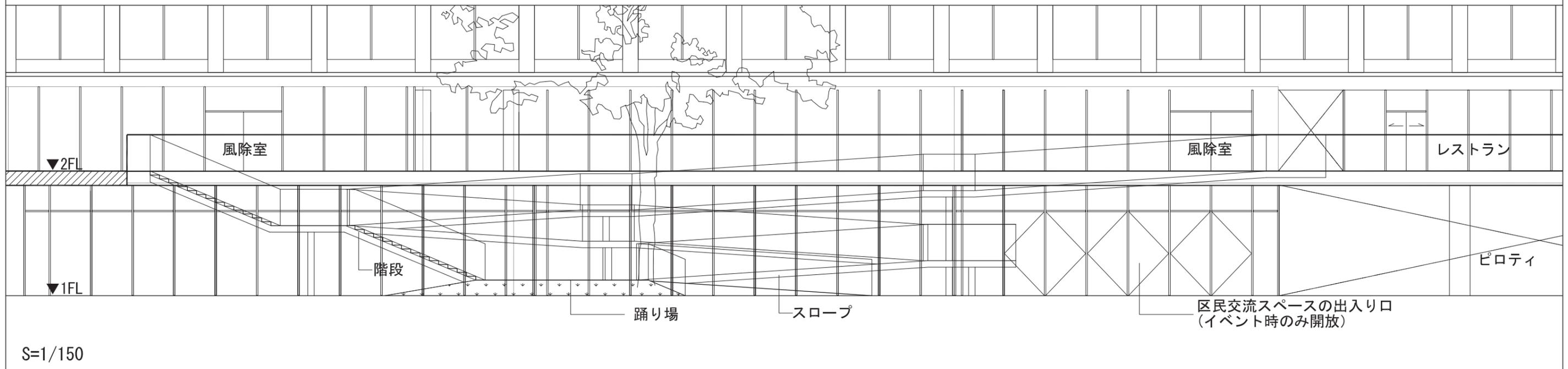
3,100

4,300

断面図



立面図





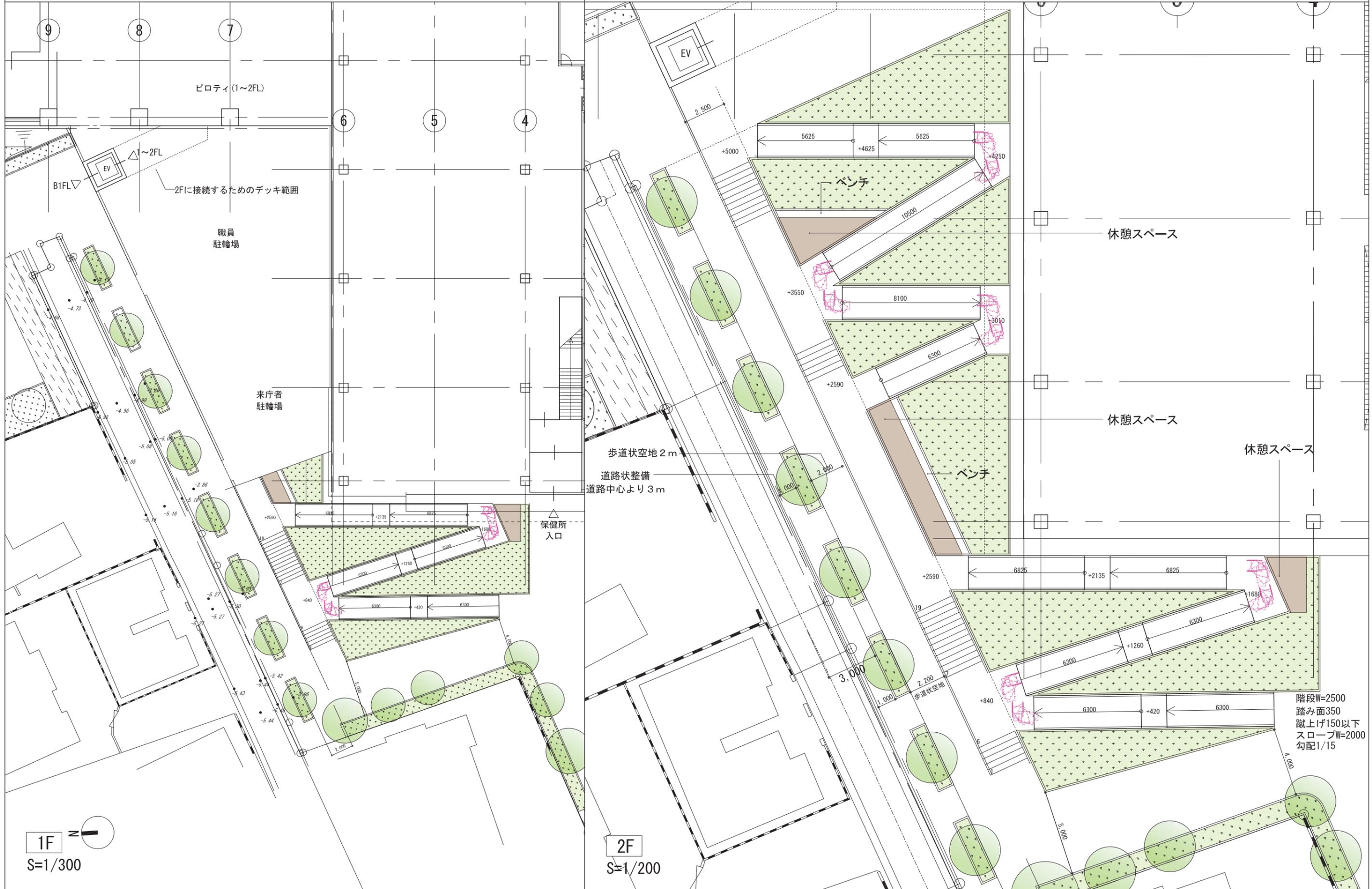
区民交流スペース(東棟1階)から見たスロープのイメージ



リングテラス下部(東棟北側)から見たスロープのイメージ

地下1階平面図 (敷地地盤レベル +2.5m)

1階平面図 (敷地地盤レベル +5.0m)



1. みどりの配置計画

(1) コンセプト

みどりの波紋

- ・広場のケヤキを中心に、みどりのネットワークが周辺緑地へと広域的に波紋状に広がることをイメージし、本庁舎のみどりを自然環境ネットワーク形成の拠点として位置付けます。

武蔵野の雑木林

地域の原風景である「武蔵野の雑木林」をみどりの基本テーマに、世田谷の潜在的な自然環境の保全・創出をめざします



- ・本庁舎等のランドスケープ計画は、屋上部分も含めて地域に長く息づく自然環境と歴史的なみどりの風景を活用し、持続可能な環境づくりによって長く区民に親しまれる場の創出を基本コンセプトとします。
- ・四季折々の移り変わりや心地よい木漏れ日など、人々を寛容に受け入れてくれる身近な自然環境をめざします。
- ・区にはこの雑木林が小規模ながら各所に残されているため、本庁舎敷地とこれらのみどりのネットワーク化によって生物多様性・都市の微気象緩和(1)など、快適な自然環境の新たな拠点をつくりだします。

1 微気象緩和：地表面から数メートルまでの気温上昇を和らげること。

(2) 整備方針

地域の植生に即した樹種の導入

- ・区役所の敷地にも既存のケヤキとともに、この雑木林のみどりを創出して、みどりと生物のネットワークの新たな拠点づくりをめざします。
- ・まとまった植栽帯を設置して、芝生の中に明るい雑木林があるような風景づくりを考えます。

樹木の保全・再生・発展

- ・広場や東敷地東側の既存ケヤキの保存に努めるとともに、東2期棟の東側にケヤキを新植することで、現在のケヤキ並木を敷地北側まで延伸します。
- ・来庁者の主な動線に沿ってケヤキ並木を設け、豊かなアプローチ空間を演出します。
- ・池廻りの既存樹も、昔から親しまれてきたみどりの風景として受け継ぎます。

生涯学習の場(環境学習)づくり

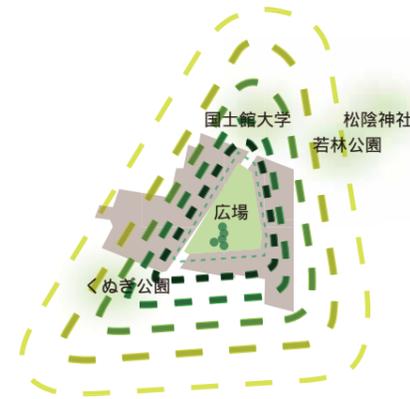
- ・「生きものつながる世田谷プラン」の方針に基づき、生物多様性、身近に体験できる地域の自然をベースとした環境づくりを行います。
- ・屋上に広がる地域の自然は、来庁者にも体験できるようにします。
- ・雑木林の自然観察や下草刈りなどを通じて、自然に親しむ区民協働の場をつくります。

雨水流出抑制

- ・屋上の植栽基盤や地上の舗装部に雨水貯留の機能を持たせ、雨水の流出を抑制します。

壁面緑化

- ・壁面緑化は維持管理等を踏まえ、適切に設置します。
- ・プランターボックス状の植栽をルーバーの間等に配置し、室内からもみどりが見える計画とします。



(3) 植栽計画について

みどりを活用した様々な活動

- ・みどり率33%以上を目標に、屋上にも緑化した庭園を設置し、敷地全体、建物全体でみどりに親しめる環境を整備します。
- ・屋上緑化は地域の植生・生きものに触れられる場所等として計画し、可能な限り区民開放ができるように検討します。

ケヤキ並木などのみどりの空間を再生・発展

- ・既存ケヤキの保存に配慮するとともに、東2期棟の東側にケヤキを新植することで、現在のケヤキ並木を敷地北側まで延伸します。
- ・来庁者の主な動線上にケヤキ並木をつくり、豊かなアプローチ空間を演出します。
- ・現バス折り返し所は廃止し、みどり豊かなオープンスペースを計画します。

皆が親しめるための工夫

- ・テラスのある立体的な広場により、より身近に木々を感じられる場所として整備します。
- ・既存のサンクンガーデン(池)周辺は、区民会館集会室等へのアプローチ空間として再整備します。
- ・敷地周辺の緑道や公園等の緑地とのネットワークを形成し、生物多様性にも配慮した計画とします。

近隣への配慮

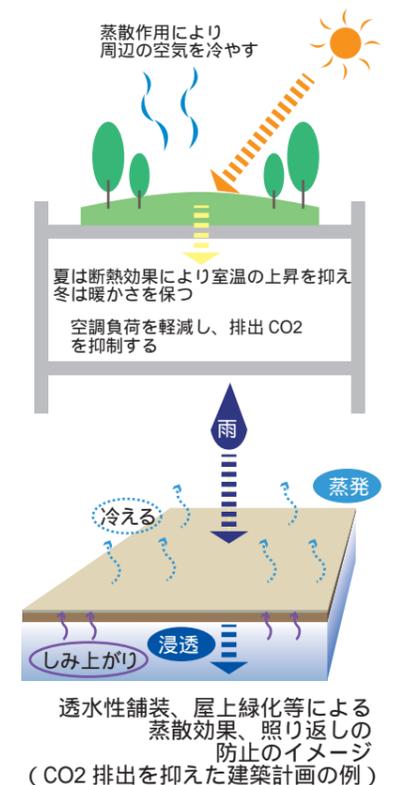
- ・敷地外周部に樹木を植え、近隣住宅との緩衝帯として整備し、見合いの防止などに寄与することで、建物の圧迫感の軽減に配慮した計画とします。
- ・落葉など近隣への影響に配慮した樹種を選定します。

既存樹木の取扱い

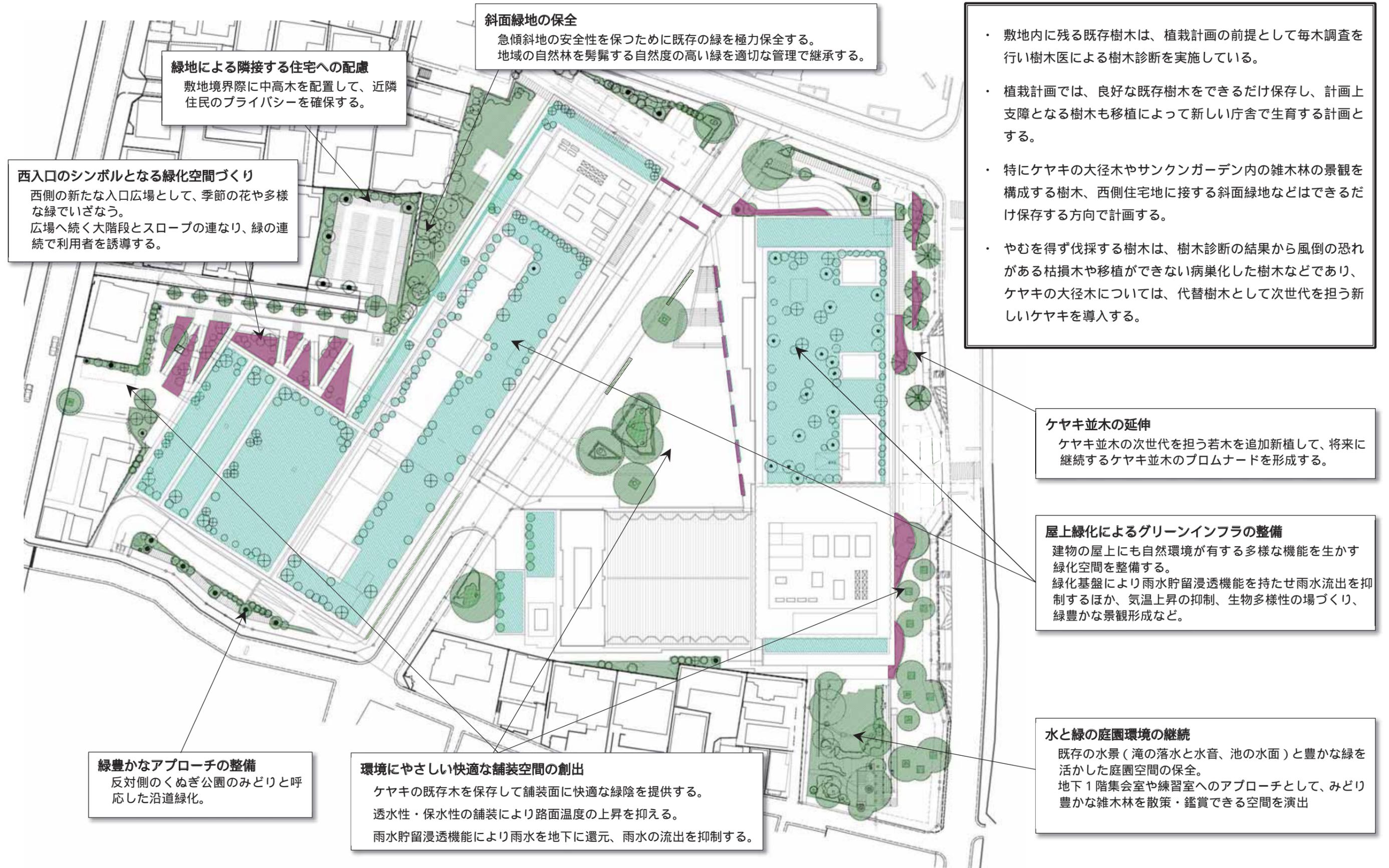
- ・既存ケヤキの保全に配慮し、建物やバスペイを整備します。
- ・建築計画上支障のあるケヤキ4本については、敷地内の別の場所へ移植します。
- ・樹木診断結果より、樹木の状態が悪く残存させることが困難なケヤキについては、伐採し、新たなケヤキに植え替えます。

(4) グリーンインフラへの取り組み

グリーンインフラに関する項目	本計画における実施内容
良好な景観形成	・既存ケヤキを活かしたみどりあふれる景観形成
生物の生息・生育の場の提供	・既存水景を活かした生物生息の場の確保 ・まとまりのある中高木による鳥の宿り木
浸水対策(浸透等)	・三重の浸水対策 (施設に浸水させない、室内に入れない、機能を止めない)
健康、レクリエーション等文化提供	・屋上緑化部分を利用した区民の交流・学びの場
延焼防止	・建物は隣地境界線から後退距離を確保 ・緩衝帯として隣地境界線近くに中高木を設置
外力減衰、緩衝(降雨、地震、強風等)	・雨水貯留、透水性舗装等による敷地内処理 ・緩衝帯として隣地境界線近くに中高木を設置
地球温暖化緩和	・みどり率33%を上回る豊富な植栽計画 ・CO2排出を抑えた建築計画・運用計画
ヒートアイランド対策	・透水性舗装、雨水貯留浸透槽土壌、屋上緑化等による打ち水(蒸散)効果、照り返しの防止



2. 緑化計画図



：基本設計(みどり率34%)から緑地を増やした部分

3. 屋上緑化計画の基本的考え方

近隣住民への配慮

○屋上緑化の一般開放の考え方について

- ・近隣住宅が近接する西棟は、屋上緑化エリアの開放を制限し、以下の考え方で運営する。

【東棟 5階屋上】：一般開放エリア

【西棟 5階屋上】：目的を限定した利用として開放

【西棟 2.3.4階屋上】：開放しない

○ゾーニング・植樹の考え方について

- ・各エリア広場側を除く外周部には、中木程度の樹木を植え、近隣住宅への見合いを防ぐ計画とする。
- ・特に近隣住宅が近接する西棟 5階屋上は、西側に太陽光パネルを設置することで近隣住宅エリアとのバッファゾーンとして計画する。
- ・太陽光パネルは、設置角度を極力小さくし、圧迫感の低減に配慮する。

屋上緑化イメージについて

○東棟 5階屋上

- ・区民へ開放する約 1,000 m² (約 18m x 55m) の公園的緑化空間とする。
- ・中央の芝生広場とその外周を回遊する園路で構成。園路沿いは地域の雑木林のような多様な植栽環境を創出する。
- ・中央広場側は広場への眺望・見通しのきく中・低木主体の植栽とする。
- ・芝生広場は、子供たちが安全に遊べる空間とし、家族で楽しめる場とする。
- ・園路沿いは、地域の自然環境を再現した空間とし、カントリーヘッジ・自然観察解説板などを置く。
- ・その他ベンチ・水飲みなど。



多様な草花がある植込み



こどもたちが安全に遊べる芝生広場



芝生を囲む園路



世田谷の自然環境を切り取った緑地



「野草パーク」のイメージ



エノコログサ



カワラナデシコとチガヤ

【西棟 5階屋上】

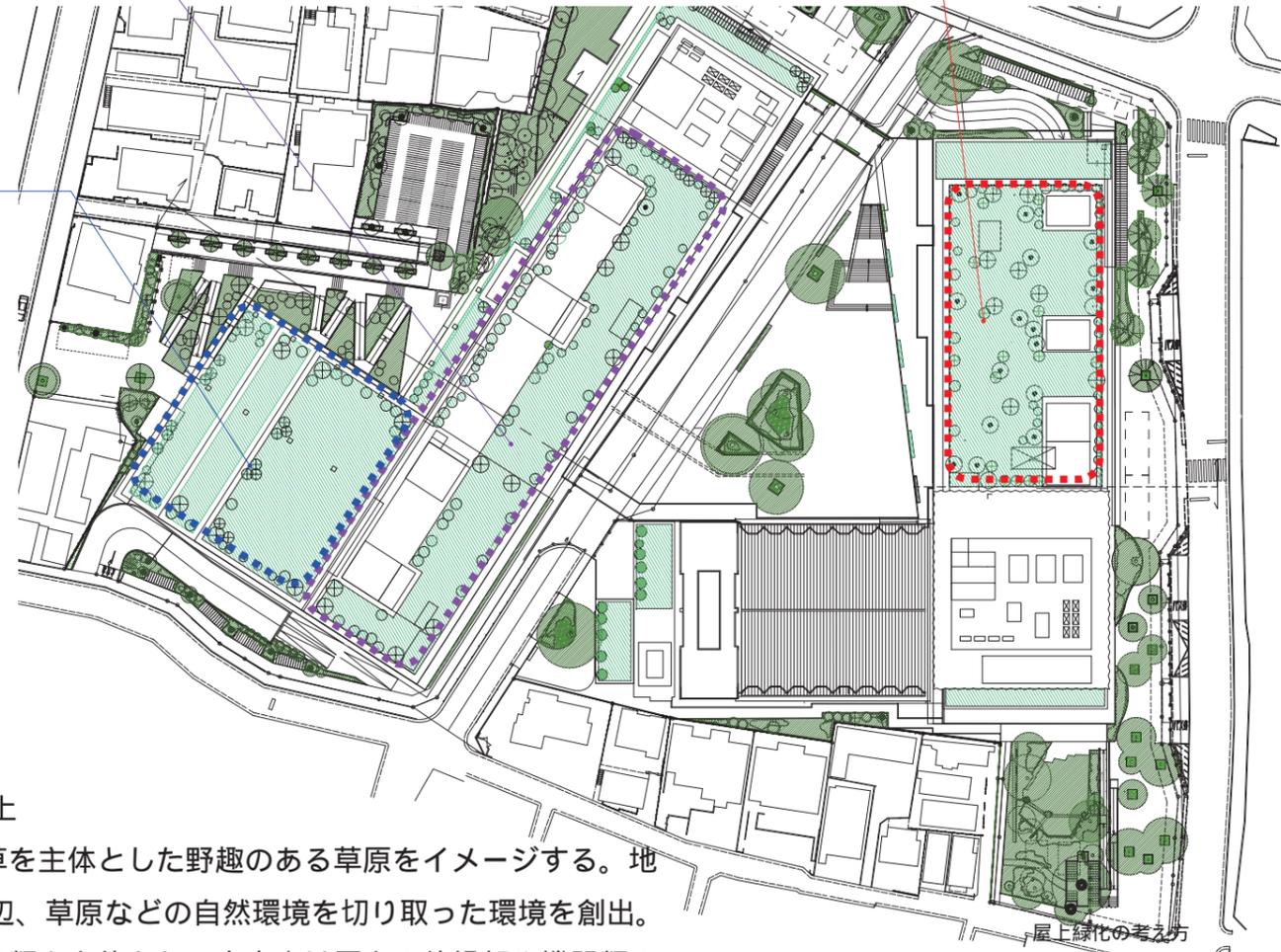
- ・目的を限定した利用として開放するエリア (例：教育イベントなど)
- ・管理の手間を極力省力化する為、野草を中心に緑化した「野草パーク」をテーマとする。
- ・世田谷区の表土を寄せ集め (例：区民イベントなど)、世田谷地勢の縮図として再現する。
- ・サギ草など、世田谷区の民話「サギ草伝説」に因んだ草花などを計画。
- ・5階屋上西側は、太陽光パネルを配置し、東側の広場側を緑化エリアとする。

【東棟 5階屋上】

- ・一般開放エリア
- ・老若男女が集う公園のような屋上パークをテーマとする。
- ・回遊園路、憩いのベンチ、夏場に子供が遊べるミスト噴射などを計画。

【西棟 2.3.4階屋上】

- ・一般開放しないエリア (室内レイアウトにより、屋外に出ることができない)
- ・管理の手間を極力省力化する為、野草を中心に緑化した「野草パーク」をテーマとする。
- ・世田谷区の表土を寄せ集め (例：区民イベントなど)、世田谷地勢の縮図として再現する。



○西棟 5階屋上

- ・世田谷の野草を主体とした野趣のある草原をイメージする。地域の林床や水辺、草原などの自然環境を切り取った環境を創出。
- ・草花等の地被類を主体とし、高中木は屋上の外縁部や機器類の目隠し程度の必要最小限とする。
- ・屋上は、登録団体や申し込みによる限定利用とし、簡易な自然観察路で巡る約 1,200 m² (約 12m x 100m) の草原的緑化空間とする。

屋上緑化の考え方

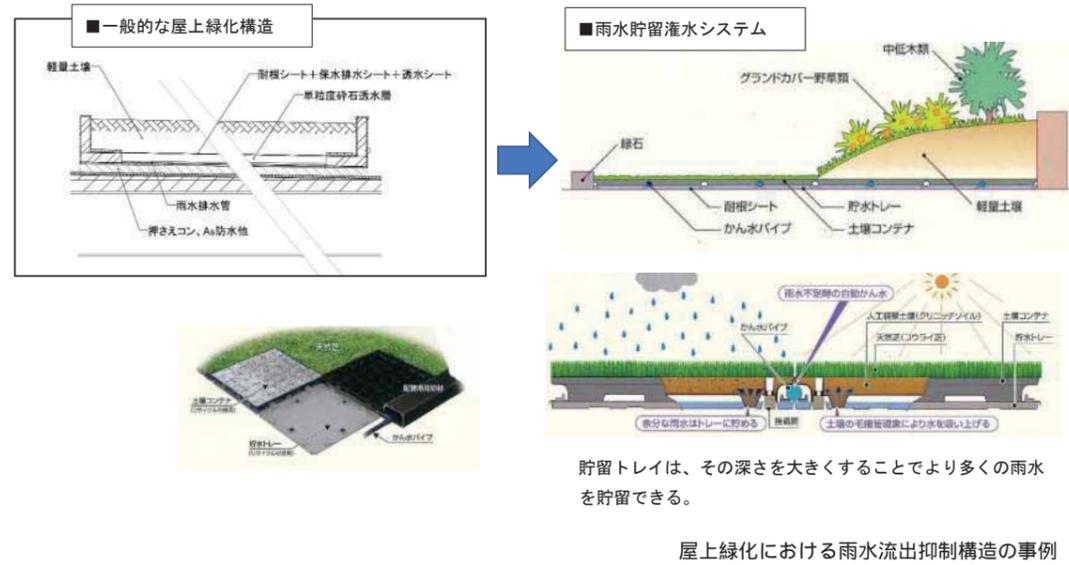
4. グリーンインフラの考え方

・【環境装置としてのグリーンインフラ機能】

屋上緑化エリアで浸透した雨水や、リングテラスに降った雨水は、一部広場に集める計画とする。広場地面に浸透・保水・貯留させることで、蒸散効果が期待でき、広場の屋外環境を快適にする環境装置として寄与する計画とする。

・【屋上緑化における雨水流出抑制構造の事例】

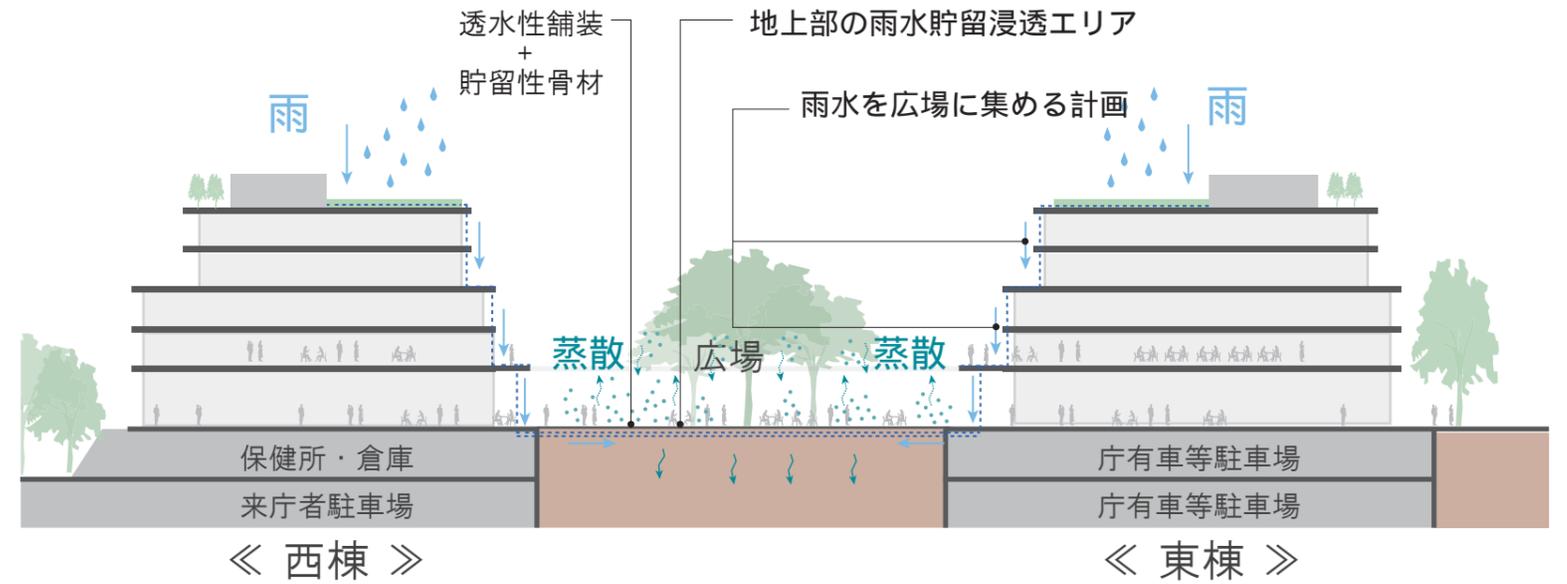
屋上緑化の構造には緑地に浸透した雨水を貯水トレイに貯留して雨水流出量を抑制すると同時に、土壌の毛細管現象でトレイの水を植栽に供給するシステムの導入も検討する。



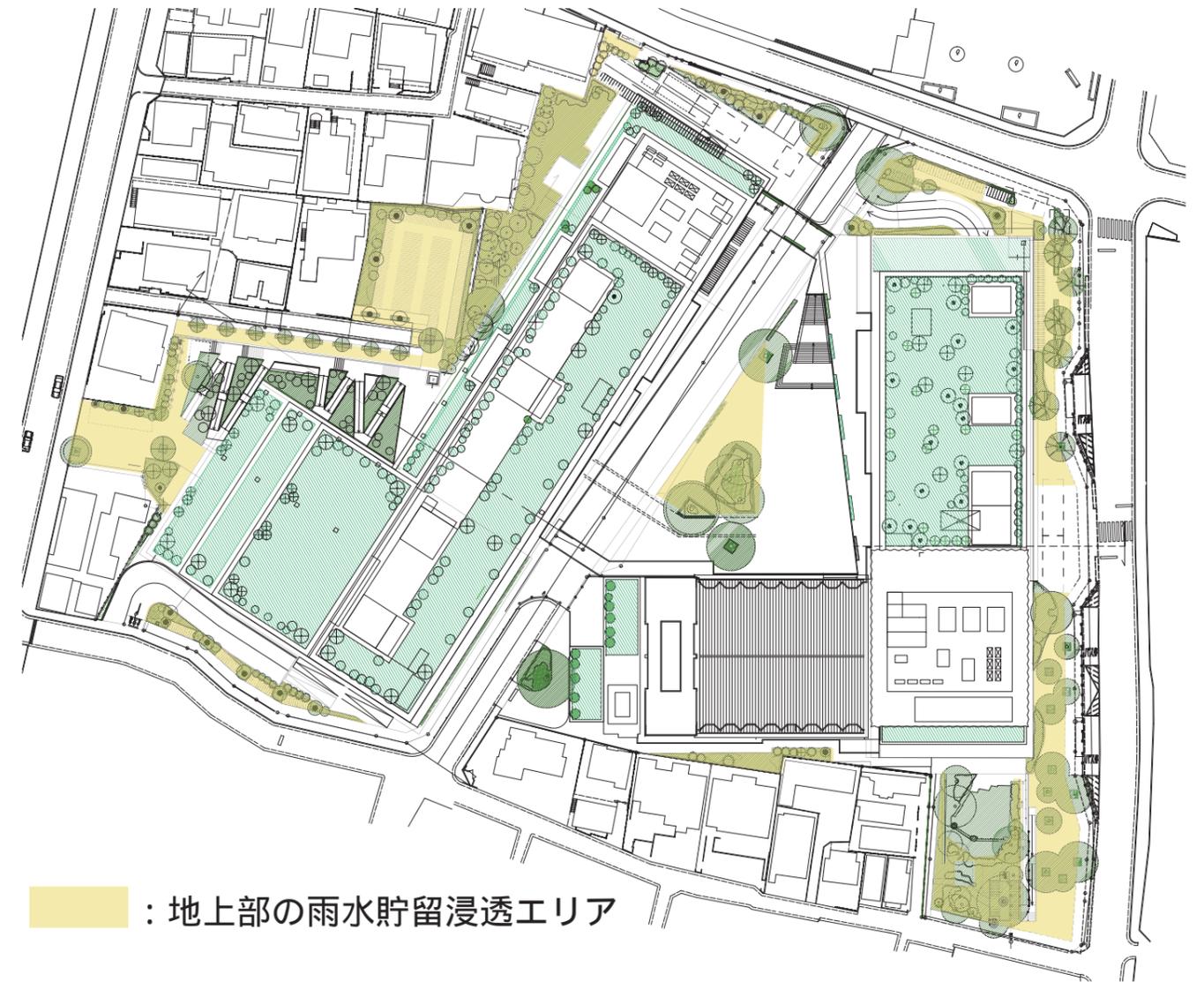
屋上緑化における雨水流出抑制構造の事例



地上部におけるグリーンインフライメージ (株式会社東邦レオ『グリーンインフラ事業』より抜粋)



建物全体で行うグリーンインフラ機能の考え方



：地上部の雨水貯留浸透エリア

地上部の雨水貯留浸透機能について